

独自のネットワークで設計から仕上げまで一括管理

明日をひらく技術に挑む 精密機械加工メーカー

協和精密工業

協和精密工業（町田市常盤町、石川光男社長、042・797・0717）は、48年の業歴を持ち、治具、工具、ゲージの製造、プレス型の製造、各種機械機器及び精密部品の設計・製作を行ういわゆる機械部品の何でも屋である。同社の製品は、業種を問わず各種の製造機械や製造ラインに機械部品として組み込まれている。製品については、お客様の「構想」を短時間で形にする少量・多品種のオーダーメイド製造であり、設計から加工・製造・各種処理・検査・仕上げ納品までを独自のネットワークで一括管理できることを強みとしており、他社との差別化を図っている。

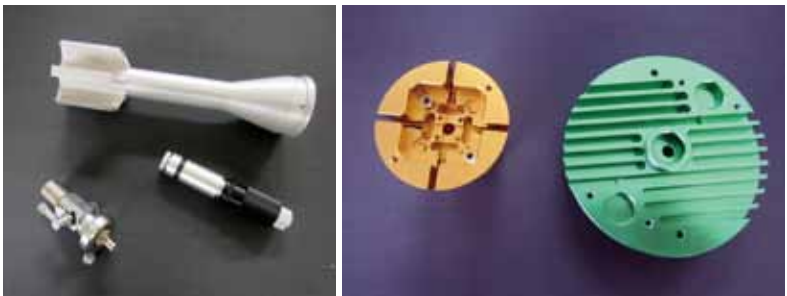
受注については当月受注の当月納品が当たり前、難削材から樹脂加工、切削加工に研磨加工、精密仕上げまで、図面1枚、個数1個でも受けつける徹底振りである。長年培ってきた経験と、最新の技術を結集させた結果、短納期・少量・多品種生産を可能にし、試作品の製作を受注するほどだ。取引先の大手重工業メーカー、大手自動車メーカー、大手機械メーカーなど多数の大手企業から高い評価を得ているのも頷ける。

同社は、東京都町田市の本社工場に加え、秋田

県大仙市に建物延床面積1550㎡に及ぶ巨大な秋田工場を保有している。そこには他社には無い最新のマシニングセンターなどの設備を導入しており、お客様の様々な要望にお応えできる体制を整えている。もちろん製品の品質についても、徹底した管理を行い高品質の製品を提供している。最新の3次元測定器により製品のわずかなズレや不具合も見逃さないため、不良品の発生は極めて少ない。ISO9001認証、ISO14001認証も当然取得済みだ。

石川社長は、経営において常に「1ランク上の目標」を掲げ、その実現に向けて積極的にチャレンジ

し続けることをテーマとしている。従業員にも「他人と同じ仕事であれば必要なく機械で十分であり、お客様に満足して買っていただけ新しいアイデアを持ったものづくりをしよう」と日々語りかけている。今後も1ランク上を目指してものづくりに突き進む同社の挑戦は続く。



同社の製品の数々。少量・多品種生産はお手のものだ。